

野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務
野並住宅3号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

調 査 報 告 書

令和2年2月

一般財団法人 東海技術センター

1. 調査件名

- ◎ 野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務
- ◎ 野並住宅3号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

2. 調査目的

調査対象建築物の外壁等に使用されている仕上塗材について、アスベスト含有の有無を調査することを目的とした。(◎については10試料、◎については2試料を調査した。)

3. 調査場所

県営野並住宅(名古屋市天白区福池一丁目79他)
調査対象施設を図1に示す

4. 調査日

令和1年12月26日(木)

5. 調査機関等

<調査機関:一般財団法人 東海技術センター>

代表者:理事長 平井 修司

所在地:名古屋市名東区猪子石二丁目710番地

<アスベスト調査担当者:岡崎 正憲>

建築物石綿含有建材調査者、アスベスト診断士、石綿作業主任者

<アスベスト分析担当者:石川 輝之>

Aランク認定分析技術者※、第一種作業環境測定士

※(公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業(旧称:石綿分析に係るクロスチェック事業)による技術認定

6. 調査方法

- ◎ 現地調査(目視確認及び試料採取)

現地にて調査対象部位を目視確認の上、分析に供する試料の採取をJIS及びマニュアル※に基づき実施した。

採取者は呼吸用保護具等を着用の上、採取前に採取箇所を湿潤化し、工具等を用いて試料の採取を行った。採取後、採取跡に飛散防止処理剤の噴霧を行った。

採取した試料は密封できる容器(チャック付ビニール袋)に収納し二重梱包の上、分析室へ搬入し分析に供した。

※「JIS A 1481-1」、「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版]」(平成30年3月 厚生労働省)付録Ⅲ 建築用仕上塗材のサンプリング」



図 1 調査対象施設

◎ 分析

採取した試料の分析は、「JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法）」に基づき、アスベスト全6種類（クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト）の定性分析を行いアスベストの有無を判定した。

7. 調査結果

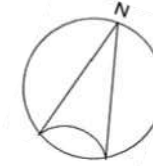
試料採取位置を図2、調査結果を表1及び分析結果報告書に示す。また調査写真帳を巻末に示す。

表1に示すとおり、今回調査した12試料共にアスベストは検出されなかった。

表1 調査結果（県営野並住宅）

分析結果 報告書番号	試料 採取場所	建材名称	定性分析結果		備考
			含有の 有無	種類	
19127002-001	1号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-002	2号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-003	3号棟（既存）	外壁	リシン	無	—
19127002-005	5号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-006	6号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-007	7号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-008	8号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-009	11号棟（既存）	外壁	リシン	無	—
19127002-011	12号棟	外壁	リシン	無	—
19127002-012	集会所	外壁	リシン	無	—
19127447-001	3号棟（増築）	外壁	リシン	無	—
19127447-002	11号棟（増築）	外壁	リシン	無	—

県営野並住宅



試料採取位置
● : アスベストなし

191 27002-001
1号棟
外壁
リシン

19127002-002
2号棟
外壁
リシン

19127002-003
3号棟 (既存)
外壁
リシン

191 27447-001
3号棟 (増築)
外壁
リシン

19127002-009
11号棟 (既存)
外壁
リシン

19127447-002
11号棟 (増築)
外壁
リシン



19127002-005
5号棟
外壁
リシン

19127002-006
6号棟
外壁
リシン

19127002-007
7号棟
外壁
リシン

19127002-008
8号棟
外壁
リシン

191 27002-011
12号棟
外壁
リシン

19127002-012
集会所
外壁
リシン

図2 試料採取位置図

現場状況写真



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-001 県営野並住宅 1号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-001 県営野並住宅 1号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-001 県営野並住宅 1号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-001 県営野並住宅 1号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-002 県営野並住宅 2号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-002 県営野並住宅 2号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-002 県営野並住宅 2号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-002 県営野並住宅 2号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-003 県営野並住宅 3号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-003 県営野並住宅 3号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-003 県営野並住宅 3号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-003 県営野並住宅 3号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-005 県営野並住宅 5号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-005 県営野並住宅 5号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-005 県営野並住宅 5号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-005 県営野並住宅 5号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-006 県営野並住宅 6号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-006 県営野並住宅 6号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-006 県営野並住宅 6号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-006 県営野並住宅 6号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-007 県営野並住宅 7号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-007 県営野並住宅 7号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-007 県営野並住宅 7号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-007 県営野並住宅 7号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-008 県営野並住宅 8号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-008 県営野並住宅 8号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-008 県営野並住宅 8号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-008 県営野並住宅 8号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-009 県営野並住宅 11号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-009 県営野並住宅 11号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-009 県営野並住宅 11号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-009 県営野並住宅 11号棟(既存) 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-011 県営野並住宅 12号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-011 県営野並住宅 12号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-011 県営野並住宅 12号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-011 県営野並住宅 12号棟 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-012 県営野並住宅 集会所 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-012 県営野並住宅 集会所 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-012 県営野並住宅 集会所 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅1号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127002-012 県営野並住宅 集会所 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-001 県営野並住宅 3号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-001 県営野並住宅 3号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-001 県営野並住宅 3号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-001 県営野並住宅 3号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-002 県営野並住宅 11号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取前
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-002 県営野並住宅 11号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取状況
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-002 県営野並住宅 11号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取後
調査日: 令和1年12月26日



野並住宅3号棟等 外壁仕上塗材分析調査業務
検体番号:19127447-002 県営野並住宅 11号棟(増築) 外壁 リシン
<写真説明>
採取試料
調査日: 令和1年12月26日

アスベスト分析結果報告書

分析結果報告書

東海技水第 19127002-001 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区篠子石二丁目2-10番地
TEL(052)774-8161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 1号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	10時 30分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 1号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1968(昭和43)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ～1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、白色非繊維状材料、黄白色塗材、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ◎ 検出
- ◎ 0.1%～5%
- ◎ 5%～50%
- ◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-002 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市各基区瑞子五二丁目7-10番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 2号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	10時 55分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 2号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1967(昭和42)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、白色非繊維状材料、黄白色塗材、白色塗材、茶白色非繊維状材料、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ◎ 検出
- ◎ 0.1%～5%
- ◎ 5%～50%
- ◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-003 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区蓬子石二丁目7番地
TEL (052) 771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 3号棟 (既存) 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	11時 05分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木 (敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 3号棟(既存)
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1967(昭和42)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	黄白色塗材、白色非繊維状材料、黄色塗材、黄白色塗材、白色塗材、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ⑤ 検出
- ④ 0.1%～5%
- ③ 5%～50%
- ② 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-005 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区籍子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-3161 (代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 5号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	10時 45分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 5号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1968(昭和43)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、茶白色塗材、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ◎ 検出
- ◎ 0.1%～5%
- ◎ 5%～50%
- ◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-006 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 6号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	11時 25分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 6号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1968(昭和43)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	薄ベージュ色塗材、ベージュ色塗材、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。

この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。

含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。

なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

◎ 無検出

◎ 検出

◎ 0.1%～5%

◎ 5%～50%

◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-007 号

令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区彌子石二丁目7-10番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取 (令和 1 年 12 月 26 日受入)			
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 7号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	11時 35分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 7号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1968(昭和43)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	薄ベージュ色塗材、ベージュ色塗材、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ◎ 検出
- ◎ 0.1%～5%
- ◎ 5%～50%
- ◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-008 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区緒子石二丁目7-10番地
TEL(052)771-3161(代) 〒465-0021

出張採取 (令和 1 年 12 月 26 日受入)			
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 8号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	11時 20分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 8号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1968(昭和43)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	乳白色塗材、ベージュ色塗材、灰白色非繊維状材料	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ⑤ 検出
- ④ 0.1%～5%
- ③ 5%～50%
- ② 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-009 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区篠野五丁目7-10番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 11号棟 (既存) 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	10時 35分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 11号棟(既存)
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1967(昭和42)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	黄白色塗材、白色非繊維状材料、薄ベージュ色塗材、ベージュ色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に⑥～⑧の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ① 無検出
- ② 検出
- ③ 0.1%～5%
- ④ 5%～50%
- ⑤ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-011 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区錦子五丁目7-10番地
TEL(052)774-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 12号棟 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	10時 20分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 12号棟
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1967(昭和42)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ～1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	黄白色塗材、白色非繊維状材料、薄ベージュ色塗材、ベージュ色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ◎ 検出
- ◎ 0.1%～5%
- ◎ 5%～50%
- ◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127002-012 号
令和 2 年 1 月 20 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区瑞穂字石二丁目7番地
TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取	(令和 1 年 12 月 26 日受入)		
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 集会所 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	11時 35分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分析対象	単位	分析結果	備考
1 石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名: 野並住宅1号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 集会所
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1967(昭和42)年建築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ～1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	黄白色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～◎の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ◎ 無検出
- ◎ 検出
- ◎ 0.1%～5%
- ◎ 5%～50%
- ◎ 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127447-001 号

令和 2 年 1 月 24 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区栄子五丁目7番地
TEL.(052)771-5161(代) 〒465-0021

出張採取 (令和 1 年 12 月 26 日受入)			
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 3号棟 (増築) 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	11時 10分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名: 野並住宅3号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 3号棟(増築)
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1994(平成6)年増築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	薄ベージュ色塗材、ベージュ色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。

この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。

含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。

なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

◎ 無検出

⑤ 検出

④ 0.1%～5%

③ 5%～50%

② 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

分析結果報告書

東海技水第 19127447-002 号
令和 2 年 1 月 24 日

愛知県知事 大村 秀章 様

計量証明事業 愛知県知事登録 第262号
一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司
名古屋市名東区猪子石二丁目7-10番地
TEL (052) 771-5161 (代) 〒465-0021

出張採取 (令和 1 年 12 月 26 日受入)			
試料の種類	リシン		
採取場所	県営野並住宅 11号棟 (増築) 外壁		
採取日時	令和 1年 12月 26日	10時 55分	天候
採取者名	一般財団法人東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)		

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

	分析対象	単位	分析結果	備考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	

[備考] 業務名：野並住宅3号棟等外壁仕上塗材分析調査業務

石綿(アスベスト)分析結果

【試料名】

リシン

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法
 JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト
 注記2 JIS A 1481-3による定量分析は、JIS A 1481-1による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率(%)
アスベスト含有せず	-	-

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「-」を示す。

【試料採取履歴】

採取年月日	令和1年12月26日	
建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	県営野並住宅 11号棟(増築)
	用途	仕上塗材
施工年及び建築物への施工などを採用した年	1984(昭和59)年増築	
建物などの採取部位及び場所	場所	-
	採取部位	外壁
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	粒状
	試料の大きさ	1cm ³ ~1000cm ³ ×1
採取者氏名	一般財団法人 東海技術センター 岡崎、鈴木(敦)	

注記 上記事項は、依頼書に記載された情報に基づき記載し、記載がない場合、「-」を記載した。

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	令和2年1月15日	
分析者	石川 輝之	
使用した機器	実体顕微鏡	アズワン SZM-B-NOM(照明付)
	偏光顕微鏡	ニコン ECLIPSE LV100N
試料名	リシン	
目視/実体顕微鏡観察	黄白色塗材、灰白色塗材	
アスベストの種類および 推定アスベスト含有率	アスベストの種類	推定アスベスト含有率(%)
	無検出	-
前処理方法	灰化处理、酸処理	
非アスベスト繊維	セルロース	
コメント	特になし。	

注記1 JIS A 1481-1は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。
この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。
含有率約5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481規格群の別のパートを利用する。

注記2 推定アスベスト含有率は次の5区分で示す。
なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に◎～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

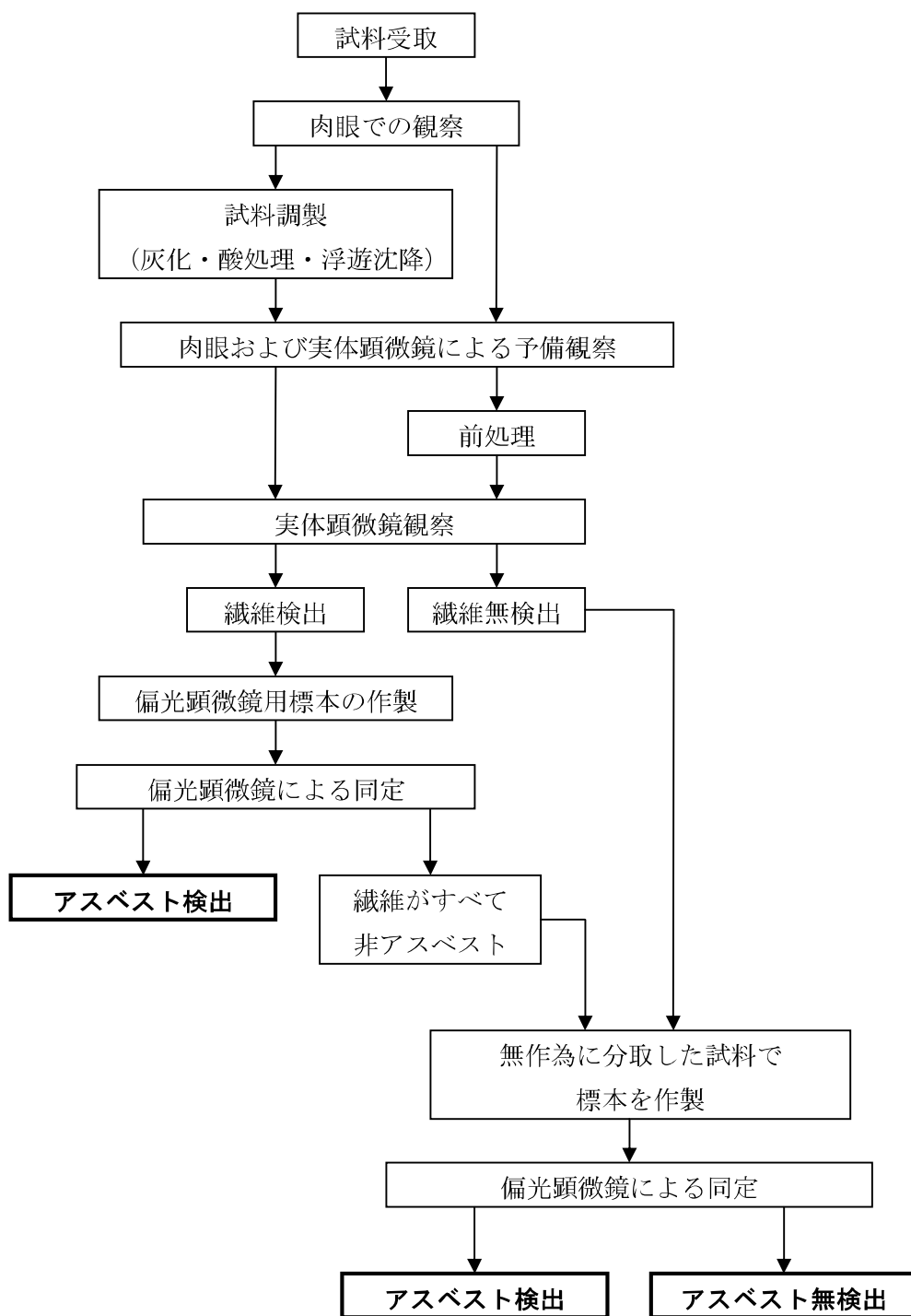
- ◎ 無検出
- ④ 検出
- ③ 0.1%～5%
- ② 5%～50%
- ① 50%～100%

注記3 報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

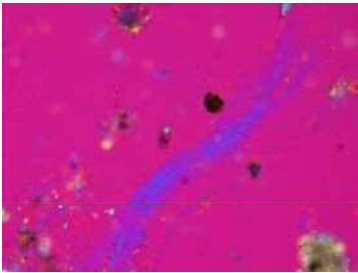
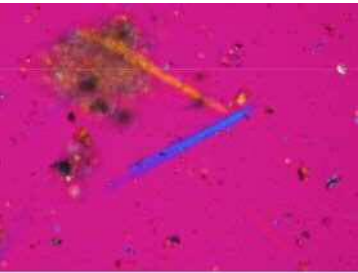
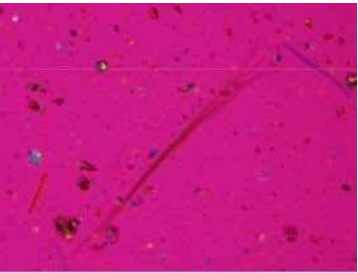



注記4 “アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

バルク材中のアスベスト定性的判定方法フロー

(JIS A 1481-1)



偏光顕微鏡によるアスベスト分析写真（例）

		
クリソタイル	アモサイト	クロシドライト
		
トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト

上記写真は、弊社にて作製した標本を撮影したものである。

アスベスト含有率のX線回折定量分析方法フロー

(JIS A 1481-3)

